【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公開番号】特開2014-202573(P2014-202573A)
【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)
【年通号数】公開・登録公報2014-059
【出願番号】特願2013-78212(P2013-78212)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　15/14　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　37/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　15/14　　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　15/14　　Ｐ
Ｇ０１Ｎ　15/14　　Ｃ
Ｇ０１Ｎ　15/14　　Ｋ
Ｇ０１Ｎ　37/00　　１０１

【手続補正書】
【提出日】平成28年1月26日(2016.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
流路を通流する粒子に励起光を照射する励起光照射部と、
前記粒子に前記励起光とは異なる位置で速度検出用光を照射する速度検出用光照射部と、
前記粒子から発せられた光を検出する光検出部と、
前記励起光に由来する光と前記速度検出用光に由来する光の検出時間差から、各粒子が前記流路に連通する分取部に到達する時間を個別に算出する到達時間算出部と、
前記粒子の分取を制御する分取制御部と、を有し、
前記流路及び前記分取部はマイクロチップ内に設けられており、
前記分取制御部は、前記光検出部で検出された各粒子のデータと、前記到達時間算出部で算出された到達時間に基づいて、前記粒子を回収するか否かを判断する粒子分取装置。
【請求項２】
前記分取制御部は、前後の粒子の到達時間差を算出し、該到達時間差が閾値以下の粒子は、非回収と判断する請求項１に記載の粒子分取装置。
【請求項３】
前記速度検出用光は前記励起光と波長が異なる請求項１又は２に記載の粒子分取装置。
【請求項４】
前記到達時間算出部は、前記励起光に由来する散乱光と前記速度検出用光に由来する散乱光の検出時間差から各粒子の到達時間を算出する請求項３に記載の粒子分取装置。
【請求項５】
前記励起光照射部は、異なる波長の光を出射する２以上の光源を備える請求項１～４のいずれか一項に記載の粒子分取装置。
【請求項６】
前記分取部は、前記流路に連通する負圧吸引部を有する請求項１～５のいずれか一項に

記載の粒子分取装置。
【請求項７】
　前記分取制御部は、前記光検出部で検出された各粒子のデータと、前記到達時間算出部で算出された到達時間に基づいて、前記負圧吸引部の動作を制御する請求項６に記載の粒子分取装置。
【請求項８】
　前記分取制御部は、前記光検出部で検出された各粒子のデータと、前記到達時間算出部で算出された到達時間に基づいて、前記分取部に前記粒子を回収するタイミングを制御する請求項１～７のいずれか一項に記載の粒子分取装置。
【請求項９】
　マイクロチップ内に設けられた流路を通流する粒子に励起光を照射する励起光照射工程と、
　前記粒子に前記励起光とは異なる位置で速度検出用光を照射する速度検出用光照射工程と、
　前記粒子から発せられた光を検出する光検出工程と、
　前記励起光に由来する光と前記速度検出用光に由来する光の検出時間差から、前記マイクロチップ内に設けられ前記流路に連通する分取部に、各粒子が到達する時間を、個別に算出する到達時間算出工程と、
　前記光検出工程で検出した各粒子のデータと、前記到達時間算出工程で算出した到達時間に基づいて、前記粒子を回収するか否かを判断する分取制御工程と、
を有する粒子分取方法。
【請求項１０】
　前記分取制御工程は、前後の粒子の到達時間差を算出し、該到達時間差が閾値以下の粒子は、非回収と判断する請求項９に記載の粒子分取方法。
【請求項１１】
　前記速度検出用光として前記励起光とは波長が異なる光を用いる請求項９又は１０に記載の粒子分取方法。
【請求項１２】
　前記到達時間算出工程は、前記励起光に由来する散乱光と前記速度検出用光に由来する散乱光の検出時間差から各粒子の到達時間を算出する請求項１１に記載の粒子分取方法。
【請求項１３】
　前記励起光照射工程は、２以上の光源からそれぞれ異なる波長の光を出射する請求項９～１２のいずれか一項に記載の粒子分取方法。
【請求項１４】
　前記分取部は前記流路に連通する負圧吸引部を有し、
　前記分取制御工程は、前記光検出工程で検出した各粒子のデータと、前記到達時間算出工程で算出した到達時間に基づいて、前記負圧吸引部の動作を制御する請求項９～１３のいずれか一項に記載の粒子分取方法。
【請求項１５】
　前記分取制御工程は、前記光検出工程で検出した各粒子のデータと、前記到達時間算出工程で算出した到達時間に基づいて、前記分取部に前記粒子を回収するタイミングを制御する請求項９～１４のいずれか一項に記載の粒子分取方法。